

令和 8 年度第 1 回摂津市健康づくり推進協議会
次第

令和 8 年 8 月 6 日（木）

午後 2 時～

市役所新館 7 階講堂

1. 議事案件

まちごと元気！健康せつつ 2 1（第 3 次）

令和 7 年度事業報告及び令和 8 年度事業計画について（資料 1，2）

国民健康保険被保険者の健康増進							
KPI (指標)	特定健診受診率						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
	実績値	33.1%	27.6%				

◇主要10事業

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
1. 特定健診未受診者対策事業	●特定健診の受診者数は2,884人（前年度比+13人）で、受診率27.6%（前年度比+0.6ポイント）であった。 【受診者の内訳】 ◇保健センターでの集団健診：1,779人（前年度比-9人） ◇医療機関での個別健診：619人(前年度比-5人) ◇出張集団健診：274人(前年度比+19人) 別府コミュニティセンター：72人 新鳥飼公民館：89人 摂津市役所（初開催）：113人 ◇人間ドック・職場健診受診者：212人（前年度比+8人） ●脳ドック：81人 ●未受診者対策としては、9,595件に架電し321人の予約につなげた。 ●ナッジ理論に基づき、対象者の特性に合わせて行動変容を促す勧奨通知を4回（1.2回目5,000通、3回目3,000通、4回目1,711通）送付し、延べ5,691人のうち、1,754人の受診（30.8%）につなげた。	●新型コロナウイルス感染症拡大時に減少した特定健診の受診率は、令和3年度以降回復傾向にあるものの、目標値である60%には届いていないため、受診率向上につながる取組等を検討していく必要がある。 ●出張集団健診は、一定のニーズがあるため引き続き実施し、様々な場所で実施することで効果測定を行う。 ●人間ドック・脳ドック費用助成制度について、各種媒体を活用した事業の周知啓発に努め、受診者の増大を図っていく必要がある。
国保年金課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
2. 特定保健指導 （特定保健指導未利用者対策事業）	●特定保健指導については、対象者432人の内、310人（71.7%）に電話や面談等で実施した。（動機付支援217人・積極的支援93人） ●健診当日の面談（プレ指導）を実施し218人が参加した。 ●健診後に健診結果説明会を27日間開催し、100人が参加した。 ●面談（プレ指導）及び健診結果説明会の不参加者には随時電話で利用勧奨した。	●特定保健指導実施率は府内において上位で推移しており、引き続き健診時の面談（プレ指導）を行うことで現在の実施率を維持していく。
国保年金課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
3. 若年者健診・保健指導 （早期介入保健指導事業）	●若年者健診の受診者は97人で、受診率は3.6%（前年度比-0.8ポイント）であった。 ●BMI値が18.5未満または25以上の者に対して健診当日に実施する保健指導の該当者は33人であった。 ●若年者を対象とした簡易な血液検査事業の申込率は、前年度に引き続き対象者を30歳以上に拡大したが、10.7%（前年度比-1.7ポイント）であった。	●人間ドック等助成金の対象年齢を30歳以上へ拡大したことの周知をSNS等を活用しながら行う。 ●簡易な血液検査事業については検査率向上の取組を検討する。
国保年金課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
4. 非肥満血圧高値者・血糖高値者 受診勧奨推進事業	●血圧高値者に対しては、健診当日に会場でリーフレットを手渡ししながら受診勧奨を行い、血糖高値者に対しては、健診結果通知に受診勧奨リーフレットを同封した。 ●対象者55人（高血圧38人、高血糖17人）に受診勧奨を実施した結果、33人が医療機関を受診し、受診率は61.1%（前年度比-26.4ポイント）となった。	●医療機関受診率の増加を図るため、配布するリーフレットについて、よりよい内容を検討する。 ●電話がつかまらないケースが多いため、健診当日における医療機関受診の啓発を強化する手法を検討する。
国保年金課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
5. ハイリスクアプローチ	●血圧の基準該当者に対し健診当日に対面で受診勧奨し、必要に応じて医療機関宛ての紹介状を発行し、その後の受診状況を確認した。 ●血糖・脂質は電話・面談・訪問・文書等で受診勧奨と生活習慣についての保健指導を実施し、その後の受診状況等を電話やレセプトで確認した。 ●前年度ハイリスク対象者で医療機関未受診者に対し、健診当日に医師から受診勧奨を行った。 ●ハイリスク対象者が医療機関を受診し、数値の改善の動機付けをするために、ナッジ理論に基づいた案内文に変更した。 ●保健指導対象者81人全員に指導を実施し、実施率は100%であった。	●前年度ハイリスク対象者や、早急に医療機関受診が必要な者等に対し、個別に対応し保健指導を実施することで、健康への意識付けや集団健診受診、医療機関受診の動機付けを行っていく必要がある。
保健福祉課		

国民健康保険被保険者の健康増進							
KPI (指標)	特定健診受診率						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
	実績値	33.1%	27.6%				

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
6. 生活習慣病ポピュレーションアプローチ	●健康マイレージ利用者に対して、歩数データを送信することや、特定健診、がん検診、歯科健診を受診することでポイントが貯まることを説明し、インセンティブを付与することで、健康のために歩く習慣をつけ、健康管理のために各種健(検)診の受診を促した。	●健康アプリのリニューアルを好機と捉え、アプリを起点とした特定健診受診率の向上を目指し受診勧奨の導線を整備する。
保健福祉課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
7. 糖尿病性腎症重症化予防事業 (糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業)	●ハイルスクアプローチである保健指導および栄養指導に加えて、ポピュレーションアプローチである受診勧奨も実施することで、事業カバー率の目標達成につながった。 ●保健指導の実施者は10人、受診勧奨の実施者は30人であった。 ●栄養指導事業において、実施日を複数設けることで、参加しやすい環境づくりを行った。 ●事業実施者において、新規人工透析移行者は0人であった。	●対象者抽出条件の見直しを図り、より必要性の高い人に対する保健指導の実施を目指す。
国保年金課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
8. CKD（慢性腎臓病）アプローチ	●電話・面談・訪問・文書等で受診勧奨と生活習慣についての保健指導を実施し、その後の受診状況等を電話やレセプトで確認した。 ●前年度ハイルスク対象者で医療機関受診のない者に対し、健診当日に医師から受診勧奨を行った。	●CKD診療ガイドラインが改訂されたことに伴い、市の基準値も見直しを行い対象者を拡大する。 ●健診結果について、経年比較の重要性を伝える文書を送付することで、より早期からの受診勧奨及び発症・重症化予防につなげる。
保健福祉課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
9. 各種がん検診事業	●がん検診受診率向上のため未受診勧奨案内に圧着ハガキを使用し、集団検診にて予約者数が少ない時期に合わせて、未受診勧奨はがきを2回に分けて送付した。 ●乳・子宮頸がんクーポンと乳幼児健診案内時に、受診勧奨チラシを同封した。 ●市内小中学校を通じて保護者向けのがん検診案内チラシを配布した。 ●乳がん検診の実施医療機関を1医療機関追加した。 ●大阪府の事業である「大阪府大腸がん検診受診促進事業」を活用し、協会けんぽ被扶養者の特定健診に合わせて、60代の被扶養者へ市の大腸がん検診を同日実施した。	●検診機会の更なる拡大のため新規の受託医療機関を確保する。 ●精密検査対象者への受診勧奨をタイムリーに行い、早期受診・早期治療につなげる。 ●協会けんぽの被扶養者対象の特定健診と市の大腸がん検診を組み合わせで同日に実施できるよう調整していく。
保健福祉課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
10. 医療費通知および後発医薬品差額通知事業	●大阪府の共通基準に沿って奇数月に医療費通知を43,562件送付した。 ●後発（ジェネリック）医薬品差額通知を467件送付し、利用率は91.5%（前年度比+3.9ポイント）であった。	●後発（ジェネリック）医薬品への切り替えは、薬剤師から被保険者へ直接声掛けをすることが非常に有効であるため、今後も市内薬局を中心に連携を図りながら本事業を推進する。
国保年金課		

◇その他の保健事業

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	●健康状態不明者18名を対象に、今年度は事前アンケート結果より受診済・健診済の者以外全て訪問や電話で介入することとした。訪問9名、電話1名、文書送付3名実施し、計13名に介入でき、受診勧奨することができた。 ●ポピュレーションアプローチとしては、各リハビリサロンとつどい場全箇所フレイルの講話や体操を実施。同時にオーラルフレイルの周知啓発を強化した。フレイルに該当する者へ介護予防・生活支援サービス事業へつなぐ取り組みを始めた。	●健診受診の必要性和フレイル予防の周知啓発を強化していく。 ●訪問介入ができなかった場合、関係各課と介入状況を共有し、相談・指導を実施できる手段を増やす。 ●オーラルフレイルに該当する者についても把握しているため、次年度は対応を検討したい。
国保年金課、保健福祉課、高齢介護課		

事業名	令和7年度の取組実績	今後の展開（分析・考察）
服薬適正化推進事業	●同一月に複数の医療機関から同じ薬剤の薬剤の処方を受け、かつ3か月以上連続する対象者42人にポリファーマシー(多剤併用)のリスクについて記載したチラシを送付し、薬局への相談を促した。	●今後もKDBシステムを活用して対象者抽出を行い、ポリファーマシーのリスクについて通知する。
国保年金課		

令和7年度 摂津市健康増進計画 まちごと元気！健康せつつ21 取組状況

1. 生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防

事業名	令和07年度の取組実績
1) 栄養・食生活	・食育の日（毎月19日）に、ホームページ「食育コラム」を配信するほか、広報紙でも食育に関する特集号を掲載し、市民に広く周知した。 ・クックパッドの公式キッチンでは地場産物のPR、離乳食、フレイル予防をテーマとしたレシピを16品公開し、総アクセス件数は79,987件であった。 ・国立健康・栄養研究所、庁内関係課と連携し、幅広いテーマでのレシピ公開や、若年者・高齢者へのフレイル予防に係る啓発を行った。 ・こども園や小中学校と連携の上、「SDGs」をテーマとした食育に取り組んだ。 ・離乳食講習会及び後期食講習会を24回実施し、延べ367人（前年度比±0）が参加した。 ・1歳6か月及び2歳6か月児健康診査時に個別栄養相談を36回実施し、115人（前年度比±0）が参加した。 ・つといの広場等において、乳幼児とその保護者に栄養相談を29回実施し、203人（前年度比+73人）が参加した。
事業名	令和07年度の取組実績
2) 身体活動・運動	・体操の動画を継続的にホームページに公開するだけでなく、ホームページを見ることができない方や地域の方が講座等で使用するためにDVD・CDを56枚（前年度比+32）配布した。 ・地域ごとに実施している高齢者が集うリハサロンでフレイルについて講話を実施した。また、握力測定などを実施し、自身の身体状況を気づききっかけづくりをした。 ・うきうきせつつウォーキングを9回（前年度比+4回）開催した。参加者は421人（前年度比+148）であった。 ・熱中症予防のため、7・8・9月のウォーキングは休止した。休止期間のイベントとして、8月に体育館で「100まで歩こう！家トレ」を実施し、61人（前年度比±0）が参加した。 ・歩くことでポイントを獲得し、ポイントに応じて、参加賞や抽選で商品が当たる健幸マイレージを引き続き実施し、新規参加（登録）者が237人（前年度比-101人）となり、健康マイレージの事業参加者は合計2,667人となった。 令和7年度で事業が終了するため、終了に向けたお知らせをはがきやアプリ内プッシュ通知、広報等で行った。
事業名	令和07年度の取組実績
3) 休養・睡眠	・厚労省の睡眠ガイドが改訂されたことを受け、睡眠と健康に関するホームページを更新した。 ・11月の健康まつりにおいて、休養の必要性を認識し、質の高い休息をとる意識づくりを目的とした「ゆったり夜ヨガ〜よい眠りでよい朝を〜」を開催し、62名が参加した。 ・9月の自殺予防週間に、メンタルヘルスと睡眠の関係性についてのチラシを自治会配布し、リハサロンでも講話を行った。
事業名	令和07年度の取組実績
4) 喫煙	・肺がん検診や特定健診時、母子健康手帳交付時等に、喫煙者に対して禁煙外来の紹介や禁煙方法の助言等を行った。 ・「世界禁煙デー」や「禁煙週間」に合わせて広報紙やホームページにおいて、禁煙に関する記事を更新し、新型たばこ等の新たな情報に関する周知啓発を実施した。 ・JR千里丘駅とフォルテ摂津をつなぐ連絡橋近くや阪急摂津市駅周辺、境川せせらぎ緑道等に路上喫煙禁止の看板を設置している。 ・市内で禁煙外来を実施している医療機関の取組状況を確認し、市民への周知啓発を実施した。 ・受動喫煙と禁煙治療に関する啓発チラシを作成し、自治会配布を行うとともにイベントでの配布を行った。
事業名	令和07年度の取組実績
5) 飲酒	・市ホームページに、「知ってほしい お酒のこと」と題しアルコール健康障がいに関するページを更新した。 ・アルコールを含めた依存症に関するホームページを更新した。 ・11月の広報紙において、市民に広く周知するため、アルコール関連問題啓発週間の記事を掲載した。 ・二十歳の集いにおいて、アルコールを含めた依存症に関するチラシを配布した。 ・アルコール依存症に関する相談件数は1件（前年度比-1件）であった。 ・母子健康手帳交付時に、保健師・助産師による全数面接711件（前年度比+60件）実施し、飲酒による胎児への影響について指導した。 ・プレママサロン（※）を16回実施し、延べ158人（前年度比+30人）が参加し、飲酒による胎児への影響について指導した。 （※）子を持つ親となる方を対象とした、母親の身体についてや、赤ちゃんについての講座
事業名	令和07年度の取組実績
6) 歯と口の健康	・全身疾患に影響する歯周病の早期発症等を若年層から予防することを目的に、18歳から74歳までのすべての摂津市民に対象を拡大し、令和7年度は4,000人以上が受診した。これにより妊娠前から高齢期まで無料で歯科健診を受けられる環境を整備した。 ・受診が困難な高齢者等を対象に訪問歯科健診を実施し、14人（前年度比-2人）が受診した。 ・乳幼児歯科健康診査を実施した。 ■健診：受診率（前年度比）/虫歯のない割合（前年度比） 1歳6か月児健康診査 98.5%（-2.0%）/ 99.4%（-0.1%） 2歳6か月児健康診査 94.1%（+3.9%）/ 97.6%（+0.1%） 3歳6か月児健康診査 95.8%（-1.4%）/ 93.4%（+0.3%）

令和7年度 摂津市健康増進計画 まちごと元気！健康せつつ21 取組状況

2. 生活習慣病の早期発見、重症化予防

事業名	令和07年度の取組実績
1) けんしん (健診・がん検診)	・各種がん検診の受診者を増やす取組として集団検診（保健センター）及び個別検診を次のとおり実施した。 【集団健診（保健センター）】 ■セット健診（健康診査+がん検診） ：午前73回、午後22回※うち土日祝（午前のみ）は7回 ■胃・大腸・肺がん・骨粗しょう症検診：17回※うち土日は5回 ■胃・大腸がんバスの検診：2回※全て土日（午前のみ） ■乳がん検診：29回※うち土日は7回、一時保育は5回 ■子宮頸がん検診：18回※うち土日は3回、一時保育は5回 【個別検診（医療機関）】 ■胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診各1か所 ■乳がん検診9か所（前年度比+1か所 ※令和7年9月から） ■子宮頸がん検診29か所 ■前立腺がん検診31か所 ・各種がん検診の受診者数・受診率は次のとおりであった。※対象者は40～69歳（胃がんは50歳～、子宮頸がんは20歳～） ■胃がん709人・5.1%（前年度比-56人・-0.5%） ■大腸がん1,726人・5.2%（前年度比-117人・-0.3%） ■肺がん1,938人・5.8%（前年度比-73人・-0.2%） ■乳がん1,112人・13.6%（前年度比-22人・-0.3%） ■子宮頸がん2,183人・16.5%（前年度比-79人・-0.8%） ※各数値は速報値（確定時期：翌々年12月）
関連する主な事業	令和07年度の取組実績
2) 重症化予防	・健康リスクが高い健診受診者（血圧、血糖値、脂質、肝機能）に対し、健診結果通知書に受診勧奨チラシを同封して送付した。 ・健診結果送付後、有所見を認めた90人に対して、保健師等による電話個別指導、経年の検査結果の推移を見える化した文書送付、および訪問による早期受診勧奨を実施。その結果、42人が医療機関への受診に至った。 ・9月に新島飼公民館で国立循環器病研究センターの医師による「STOP MI」及び「CHECK FAST」の講座を実施し、78人が参加した。 ・健診の結果でCKDの有所見者4人に対し、保健師等による経年の検査結果の推移を見える化した文書送付や電話個別指導等による受診勧奨を実施。その結果、3人が医療機関への受診に至った。 ・前年度ハイリスク対象者で医療機関受診のない者に対し、健診当日に医師から受診勧奨する取組を引き続き実施した。

3. 生活機能の維持・向上

事業名	令和07年度の取組実績
1) フレイル予防	・地域ごとに実施している高齢者が集うリハサロン、つどい場において栄養士がフレイル予防のための栄養・食生活に関する講話を行い、「高齢者のためのフレイル予防レシピブック」を配布した。また、保健師によるフレイル・オーラルフレイル予防について講話や握力測定、パタカ測定を実施した。 ・高齢者等配食サービス利用者に対し、対象26名中11名に対して栄養助言を行った。
関連する主な事業	令和07年度の取組実績
2) こころの健康	・こころの健康に関するホームページを更新した。 ・9月の自殺予防週間と3月の自殺対策強化月間に合わせて、各種相談窓口とゲートキーパーについて、広報紙に掲載した。また、こころの健康やゲートキーパーに関するチラシ等を、自治会へ回覧するとともに、リハサロンで配布し、市民への周知啓発を行った。 ・茨木保健所と連携し、市役所で月に1回、精神科医師による「こころの健康相談」の機会を設け、保健福祉課に相談があった際は、必要に応じ紹介できる体制を構築している。 ・相談内容によって生活困窮や高齢介護、障害福祉など関係機関と連携している。 ・こころの健康相談についての相談先やチラシ等をまとめたファイルを窓口で活用した。 ・1月に、相談業務に携わる市職員等を対象としたゲートキーパー養成研修を実施した。 ■参加人数：15人 ・産後うつ等の予防支援として実施している産後ケア制度の利用が、宿泊型99世帯（前年度比+17世帯）、デイサービス型48世帯（前年度比+21世帯）、訪問型36世帯（前年度比+6世帯）であった。

令和7年度 摂津市健康増進計画 まちごと元気！健康せつつ21 取組状況

4. 自然に健康になれる環境

関連する主な事業	令和07年度の取組実績
1) 社会とのつながり・健康増進のための環境づくり	・9月に新島飼公民館で国立循環器病研究センターの医師による「STOP MI」及び「CHECK FAST」の講座を実施し、78人が参加した。 ・11月に済生会吹田病院と共催で、「小さながんみつけた。がんと感染症の関係」をテーマとした市民公開講座を実施し、68人（前年度比+6人）が参加した。 ・11月に行われたせつつ市民健康まつりにおいて、休養の必要性を認識し、質の高い休息をとる意識づくりを目的とした「ゆったり夜ヨガ～よい眠りでよい朝を～」を実施し、62名が参加した。 ・7月に済生会吹田病院と共催で、骨粗しょう症についての講座を実施し、68人が参加した。 ・受動喫煙と禁煙治療に関する啓発チラシを作成し、自治会配布を行うとともにイベントでの配布を行った。
まちごとフィットネスヘルシータウン事業	・うきうきせつつウォーキングを9回（前年度比+4回）開催した。参加者は421人（前年度比+148）であった。 ・熱中症予防のため、7・8・9月のウォーキングは休止した。休止期間のイベントとして、8月に体育館で「100まで歩こう！家トレ」を実施し、61人（前年度比±0）が参加した。 ・歩くことでポイントを獲得し、ポイントに応じて、参加賞や抽選で商品が当たる健幸マイレージを引き続き実施し、新規参加（登録）者が237人（前年度比-101人）となり、健幸マイレージの事業参加者は合計2,667人となった。 令和7年度で事業が終了するため、終了に向けたお知らせをはがきやアプリ内プッシュ通知、広報等で行った。
健都推進事業	・健都ヘルスサポーターの会員等を対象に地域実証を計5回実施した。 ・健都に設立されている（一財）健都共創推進機構や吹田市と定期的に会議をし、健都ヘルスサポーターの獲得に向けたイベントの活用や、国内外からの視察対応、地域実証事業の展開について協議した。 ・国立循環器病研究センターと連携したフレイル予防ネット事業において、脳卒中発症後の対象者4名に支援した。 ・国立健康・栄養研究所が実施する「摂津スタディ」に協力した。
アピアランスケア助成事業	令和7年度からがん患者の経済的及び心理的負担の軽減を図り、がんになっても自分らしく安心して社会生活を送ることができる社会の実現に資することを目的に、がんの治療に伴い補整具を購入した者に対し、がん患者のためのアピアランスケア助成金の交付を開始した。令和7年度は37件の申請があった。